

銀杏並木

花 犬

題字 山田 晓氏(旭川市在住)



まこと保育園 ひよこ組、ベビールームにて(沖 麗汰くん)

【経営理念】ご利用者とともに生きる力と喜びを 地域に安心と信頼の輪を 私達は常に可能性を追求します



社会福祉法人
旭川福祉事業会

広

報

2011.11

秋 号

VOL65

旭川市末広8条6丁目 TEL (0166) 51-2233 FAX (0166) 51-2231 発行 旭川福祉事業会

● 主な内容 ●

■ 特集～誠徳園・羽衣園の施設改修……………	2面～3面
■ 祝！敬老会～サニーヒル～……………	4面
■ スポーツの秋～ひだまりの里～……………	5面
■ 日韓交流～韓国水原市訪問を終えて……………	6面～7面
■ 筋肉ちょきんクラブ～誠徳園～……………	8面
■ 敬老会～グループホーム～……………	9面
■ 生きるってすばらしい～東川町羽衣園～……………	10面
■ あゆうぎ会～保育グループ～……………	11面
■ ご寄附ご寄贈に感謝いたします……………	12面

特集

誠徳園・羽衣園の施設改修



特別養護老人ホーム東川町羽衣園では、三十周年を迎える今年、東川町の多大なご協力をいただき、東川町地域交流支援センター並びに羽衣園増築工事、既存施設の内部改修工事を行っています。また、スプリンクラー設備工事も併設して行われています。四月から着工されたりました。増築工事は事務所の移設に伴って行われています。

東川町羽衣園の増築・改修工事 11月末の完成目指し順調に進む ～最新鋭のスプリンクラー設備も～



います。また、地域交流支援センターは、東川町や地域ニーズを把握し、多くの方々が利用できる場になるよう思案していきたいと思います。改修工事は、特殊浴槽の取り換え、浴室の移設、居室の整備、来客・職員用トイレの整備等、ご利用者並



びに来園される方や職員が生活しやすい空間を整備しています。現時点ではまだ完成していませんが、一つひとつ新しくなっていく建物やお部屋を見たり触れたり感じたりして、ご利用者の皆さんと一緒に楽しみながら毎日を過ごしています。



今回の工事は今月末（十一月）で完成する予定になつております。お近くにお越しの際は、是非新しくなった「NEW羽衣園」にお立ち寄りください。



域交流室兼ボランティアルーム等が新設され、今後の地域との連携が期待される造りになっています。

この工事は七月末には終了し、新しい空間で新たな気持ちで楽しく仕事をしてま

誠徳園、築三十一年目の リーコーフル

デイ単独のお風呂や
入所者も入浴環境が
飛躍的に改善!!

特別養護老人ホーム誠徳園では、五月より着工して
おりました誠徳園浴室改修工事・誠徳園デイサービス
センター改修工事、浴室新設の工事が終りました

誠徳園の浴室について
は、昭和五十八年増設時に
設置されたものであり、老
朽化から機械浴の故障も多
く、浴場などは寒く、脱衣
室が狭い等の不便を生じて
おりました。又、ディサ
ビス専用の浴室もなく、入
所者と共にしている状況が
あり、今回の改修工事で
は、従来ありましたディ
サービス仮眠室と、機能回
復訓練コーナーの一部を、
特別浴室とディサービス專
用の浴室に改修。一人対応

改修により、食堂は暖かく明るい空間で、ゆっくり食事ができるようになりました。

誠徳園デイサービスセンターは、防寒対策として風除室と玄関を自動ドアで仕切り、建具の改修、洗面所二箇所の新設・キッチンを対面式とし、収納スペースを確保致しました。

今後も一層ご利用者の皆さんに、快適に過ごしていただけるよう努力してまいります。

の機械浴槽を一台、個浴槽一台を導入、脱衣室等を床暖房にして、広々と暖かい中で入浴できるようになりました。又、在宅介護支援センター展示室を花園食堂に、一般浴室を支援課室に



誠德乃湯(入所者)入口



◀ 庭園をつくりました



機械治



テイサービス浴室入口



鶴乃湯浴室

祝!!
敬老会

九月十八日にサニーヒル多目的ホールに於いて敬老会が実施されました。今年も伊東理事長の挨拶から始まり、利用者代表の方々に記念品を贈呈しました。当施設最高齢の百三歳のご利用者様も元気に力強くお受け取りになられていきました。その後の恒例の余興では、旭川福祉専門学校の実習生四名が手話を交えての歌の披露。次に男性職員たちが神輿を担ぎ上げ祝

い、最後は女性職員による「河内おとこ節」の舞踊を披露しました。三組の余興に笑顔を見せていただきありがとうございました。あとは、ご利用者を対象としたビンゴ大会を開き、番号が読み上げられる度に喜一憂して、大いに盛り上がりをみせました。こうして、今年の敬老会も無事に幕を閉じることができました。来年も元気に敬老会を迎えることができたらと思います。

敬老会へご出席いただきましたご家族様には深く感謝申し上げます。



運動会!?



十月二十六日に多目的ホールに於いて体力の維持向上とリフレッシュを兼ねて三棟対抗の「大運動会」を開催しました。

種目は①つな送りゲーム②もの送りゲーム③紅白玉入れの三種。ご利用者も職員も大興奮して競っていました。大接戦の結果、優勝は東棟。参加できないう利用者も応援にまわつてもらい、大会を大いに盛り上げていただきました。



十一月四日サニー・ビルに於いて「摂食・嚥下ケア」についての研修会が開かれました。七月に旭川市保健所主催の研修会に参加した職員が講師として皆に伝達する形式で、咀嚼や嚥下の際の頬や舌の運動についてや嚥下訓練の仕方、実際に水分や固形物を飲み込んで嚥下音の確認や呼吸音についても聴診器を使って確認していました。また、終盤には日々行っている食事介助について、危険性や基本姿勢などを改めて認識し今後の介護ケアに繋げようとした真剣な眼差しで研修を受けていました。

職員研修会



レク大会

今年も敬老週間がやつてまいりました。ひだまりの里では、今年百歳を迎えるご利用者が2名おります。明治四十四年十月生まれの篠原様、明治四十四年十二月生まれの山崎様です。お二人ともお風呂が大好きとのことです。

篠原様に長寿の秘けつを

毎年ひだまりの里では秋に運動会を行なっていましたが、数年前より運動会改めレク大会と題しまして、残存機能を活かしつつ、無理なく、楽しく体を動かせる内容に変更しました。

南棟は「釣りリレー」、東棟は「玉入れ」、西棟は「ブリンゴン」などなど、各棟では、ご利用者皆様が笑顔で楽しんでいました。

そして、おやつタイムには、景品で当たったプリン、ロールケーキ、フルーチェン、

秋と言えばスポーツの秋、毎年ひだまりの里では秋に運動会を行なっていましたが、内閣総理大臣からのお祝いと御家族で盛大にお祝いをしました。

篠原様のお誕生日には職員と御家族で盛大にお祝いをしてきました。

お一人には長寿をお祝いして、内閣総理大臣からの賞状を、東川町の松岡町長が届けて下さいました。

お二人ともお風呂が大好きとのことです。



秋の甘いおやつを美味しくいただきました。



この「軽スポーツ大会」は、四種目の競技を、ご利用者の皆様全員に楽しみながら、手足を使って頂けるような競技になるよう、職員がアイディアを出し合いながら工夫を凝らしています。

スポーツと聞くと、力強さや速さを競い合うイメージを持たれるかもしれません、「軽スポーツ大会」は、要領の良さ、力加減、正確性などが結果を左右する内容となっていますので、ど



ご利用者にも優勝するチャンスがあります。ですから、毎回大いに盛り上がり、結果発表にもご利用者の関心が沢山集まります。

日に日に寒さが厳しくなってきますが、ひだまりの里デイケアセンターでは、ご利用者の熱気で寒さが吹き飛ぶようなアイデアを、これからも出し続けていきますので、宜しくお願い致します。

チヤンスがあります。ですから、毎回大いに盛り上がり、結果発表にもご利用者の関心が沢山集まります。

日に日に寒さが厳しくなってきますが、ひだまりの里デイケアセンターでは、ご利用者の熱気で寒さが吹き飛ぶようなアイデアを、これからも出し続けていきますので、宜しくお願い致します。

「スポーツの秋」

ごとにこなは
「カイケア
アソブ」



去る十月四日十六時五十分過ぎ、我々一行五名は無事仁川国際空港の広い手荷物到着場で旅行カバンを受け取り、韓国税関をクリア、その第一歩を踏み出す事が出来た。広い到着ロビーへ出ると金東哲氏が「旭川福祉事業会」と書かれたB4サイズの紙を持つて出迎えてくれた。迎えの車は一台で乗用車とワゴン車、乗用車には私と保育グループ齊藤統括長が乗り、ワゴン車にはサニーヒル介護支援課長佐々木宣明、東川地域包括支援課長阿部秀司、誠徳園事務課長管理栄養士山本惠が乗り、第一日目がスタートした。

仁川(インチョン)からでアウトバーンを高速で一地時間ほど走り、一般道へ入り本日の宿泊先である韓国伝統家屋「玉蘭斎」を目指し、水原とソウルの中間と書かれた目的地には更に一時間走るのだが、この舗装された道が時折部分的に二十センチほど盛り上げられており、その度に減速してそろそろ乗り越えなければ強い衝撃が、下から突き上げる。

日本では社会問題になるような道路で、お国柄の違いを感じたところで、車はくねくねと曲がる道を更に一時間走り、真っ暗闇で回りの景色も解らず多少の不安を感じながら玉蘭斎に到着した。

玉蘭斎には大勢の社会福祉法人京畿道社会福祉協議会の役職員のみなさんが、我々を歓迎してお集まり頂いており、ウエルカムパーティーとしてバーベキューで心温まる歓待を受け、本場韓国の焼肉を堪能しました。

第一日目に宿泊した韓国伝統家屋体験はオンドルと言う暖房方式で、日本で言えば流行の床暖房システムで、ひんやりとした空気のなか就寝したのだけれど、薄いシーツ一枚で背中が痛く、タオルケットで背中だけがポカポカ温かく、なかなか寝付くことが出来なかつた。しかしながら次の日の朝、部屋にある大きな衣装ダンスのよがりものを何気にあけると、そこにはきち

り、男性群一同後悔したところです。

翌十月五日は午前中水原市が設立し、仏教財團に委託している「水原市立老人養護院」を訪問した。

ここでの経営理念は「清く明るく暖かい施設。(二)お年寄りを父母と考えて接する。

(三)仏教を祭る施設(四)障害のあるお年

よりが安心して暮らせる施設」との事であり、一階には十五人定員のティケアと寝たきりのお部屋四室、二階は認知症の方のお部屋十三室、三階には元気な方のお部屋十三室と浴室で、全体としては三十室一二八人が暮らしており、平均年齢は七十八歳、入所者の男女比は女性八十%、男性一十%であり、病院や保健所との連携の元に運営に万全を期している。

仏教施設ではあるが、仏教に限定する事無く受け入れしており、カトリックやプロテスタントをはじめ、他の宗教の方も毎週日曜日礼拝や、お参りが行われているとの事であった。

水原市でも年々高齢化率が高まり今後十年を待たず韓国全体でも日本と同じ高齢化社会が予測されているそうで、訪問した水原市立老人養護施設でも年々介護の必要なお年寄りが増加しているそうです。

次に私の友好提携先である京畿社会奉仕会

ですが、日本で言う社会福祉協議会で行う事業から職業訓練、保育園、心身障害者支援施設、児童相談支援、外国人他文化韓国適応支援、小規模多機能の老人福祉施設まで、網羅した総合福祉事業を開拓している点で、きめの細やかな事業展開には驚きと尊敬を隠せないほど感動しました。

◎サニーヒル介護支援課長

佐々木 宣明

儒教の国と言つてもあり、お年寄りを大切にすることを考えがざいに行つても行き届いている事に感銘を受けました。

◎東川町地域包括支援センター課長

阿部 秀司

お年寄りを大切にしよう、向き合う姿勢と気持ちをとても良く伝わつて来ましたし、在宅重視と言つて視点の高さは、とても素晴らしい見習つべきと感じました。

◎誠徳園事務課長兼給食課主幹 管理栄養士

山本 恵

水原市立老人養護院の清潔で気配りの行き届いたお部屋の飾りや、寝具の配色など、お年寄りの大切にと言う心が随所に感じられとても感動しました。今回の研修に行くまでは、余り綺麗にしてはいないだろうなと言う、漠然とした先入観がありましたが、誤った先入観であつた事を痛切に感じました。

以上、韓国水原市の京畿社会奉仕会視察の報告を致します。

最後に同行した職員の感想を一言。

◎保育グループ統括長

齊藤 いつみ

保育施設では年長児の折り目正しい挨拶に感動、年長児は小学校一～一年の勉強をさせると聞き教育に対する熱意を感じました。又体験学習で色々なところへ出かけるのは日本と同じで、何よりも福祉に対する熱意や自負に裏付けられた園長先生他保育士さんの温かく優しい人柄に感銘を受けました。



▲西川旭川市長、水原市副市長金会長と訪問団

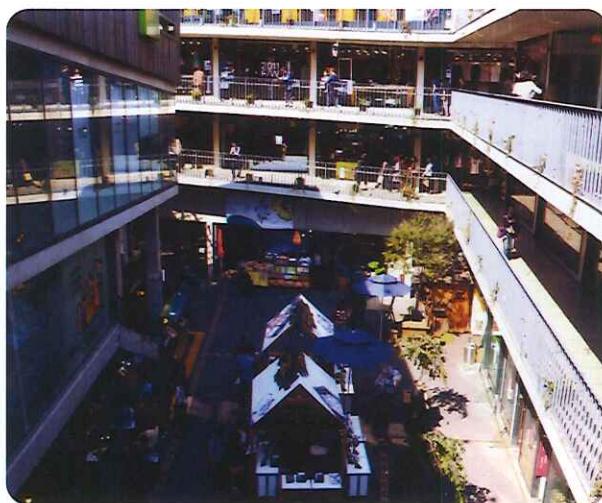


▲水原城で弓の体験を!



▲民俗衣装の小学生とあい、引き止めて1枚

▶ 日本では見られない四階建の
ショッピングモール（インカジン地区）



韓国・水原市訪問の旅

京畿社会奉仕会の皆さん やさしさと心にふれて!!

平成23年10月 社会福祉法人 旭川福祉事業会
ご報告 法人本部参与 吹田 敏治



▲京畿社会奉仕会全事業の個別の説明を受ける



▲韓国歴史村で昔の結婚式、白馬の新郎と!

▶ 韓国は古い口まいも遠足とあって大勢の小学生が曲棒で拍手を送っていた。





**誠徳園
グループ**
 seitokuen

記念式典の後は、フルートアンサンブル・民謡の披露があり、会場からは多くのリクエストや「家族の飛び入り参加など、大盛況のうちに終了しました。

また、十月五日には今年百歳になる一名のご利用者に内閣総理大臣及び旭川市長より祝い状並びに記念品の贈呈式も行われました。

103才

祝 敬老会



御家族と一緒に祝い



おめでとうございます

誠徳園では九月十八日午後から敬老会が行われました。百三歳のご利用者を最高に、百歳以上が四名、百寿三名、米寿六名の「」利用者に記念式典で理事長より記念品が贈呈されました。

11月22日
いい ふうふ

良い夫婦の日



お二人の出会いは…

今から62年前です。運命・ロマンスなんて何もないですよ。

長く仲良く連れそうには…

話を聞くときは、相手の目を見てきく。そうすると考えている事が感じてわかります。

西村様 ご夫妻



目には人を引きつける力があるのです。とご主人。ご主人のお話に笑顔で相槌を打つ奥様。ご夫婦お互い見つめあい、これからも素敵なご夫婦でいてくださいね。

一次予防運動教室

筋肉ちよきんクラブ

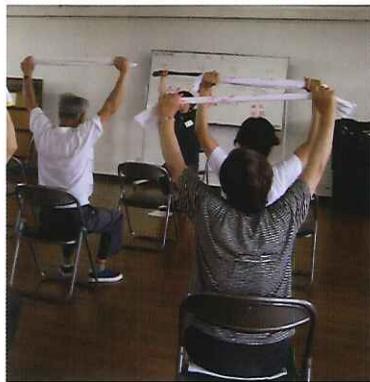


今年度旭川市より委託を受け、「一般高齢者を対象とした「筋肉ちよきんクラブ」という事業に取り組んでいます。

「筋肉ちよきんクラブ」とは、健康体操（筋力をつける簡単な体操や柔軟性をつける体操）をしたり、健康に関する知識を高めていたたく事が目的とされています。対象となる方は、六

十五歳以上の方で要支援・要介護認定を受けていない方で旭川市が受け付けております。

第一回目は六月、八月に末広東つつじ会館で実施し、第三回目は十二月、一月に北部住民センターで行われる教室を受託し実施致します。



グループホーム

おおまち ゆとり

敬老会



九月十七日、グループホームおおまちにて十八日グループホームゆとりにて敬老会を実施いたしました。両日、伊東理事長の挨拶から始まり、ゆとりには吹田参与も出席していただきました。



「家族様も多数出席していただき、楽しいひと時を過ごさせてもらいました。」



ゆとりでは、九月二十一日旭川市博物館見学に出掛けました。目の前の鹿の大模型にビックリ。

九月二十一日、旭川市立永山中学校の学校祭に招待され訪れました。

外出行事



おおまちでは買い物にお出掛けしました。
十月、イオン西店へ出掛け、ショッピングを楽しみました。

広い店内をゆっくり見て歩き、思い思いに買い物をしたり、ソフトクリームやお焼きを食べたり…
楽しいひと時でした。



演奏を聴いたりゲームをしたりして楽しく参加出来ました。
生徒の皆さんにもとても優しくしていただきました。



誕生日プレゼント



おはぎ作り(おおまち)



クッキー作り(ゆとり)

楽しい料理教室

生きるって すばらしい



「楽しみショ一」と題して、
ンクレディーやマルマル・
モリモリに扮した職員のユ
ーモラスな歌と踊りが爆笑
を誘いました。続いて行わ
れた「民謡ショ一」では花



見守つてきま
した。
庭の花々は
九月の末頃ま
で私たちの田
と心をいやし
てくれまし
た。



大地の恵みを味わう

A photograph of a woman with short dark hair, wearing a red patterned shirt, holding a large, dark green kabocha squash. She is smiling broadly, showing her teeth, and the word "おいしそうな" (delicious) is overlaid on the image near the squash. The background shows a rustic interior with wooden beams and a window.

A photograph of three elderly men sitting in a row. The man on the left is wearing a yellow and blue traditional Korean garment. The man in the center is also in a yellow and blue garment. The man on the right is wearing a yellow and blue garment and a yellow shower cap. They are all looking towards the camera.

今年の羽衣園の敬老会は伊東理事長の挨拶に始まり、東川町長松岡市郎様より、祝辞を頂き、ご利用者全員に来賓の方より記念品の贈呈、その後の余興では「お

山照学グループの本格的な
民謡を堪能しました。

山照学グループの本格的な
民謡を堪能しました。
また、祝宴には四十名程
の「」家族が参加され、「」利
用者とともに松花堂弁当や
オートブルを楽しみ家族的
な和やかな雰囲気の中で敬
老会を終えることができ、
「」出席いただきました「」家
族様へ深く感謝申し上げま
す。

う。防災・災害について
知りう。ということで今回
の一施設となりました。

できました。『学びの秋』には最適な外出行事となりました。



見て・聴いて楽しんで

東川町デイサービスセンターでは先日、外出行事で
旭川市科学館（サイパル）

旭川市科学館では見て・
聴いて・体験してとまさに
全身で科学を学んだりもおこし

い実りの秋を実感しました。

「まことフェスティバル」みんな輝いていたね!!

まこと



真和

十四十五日に行われた「まことフェスティバル」は、会場からも温かい拍手をたくさん頂き、感動を共有することができました。また一つ楽しい思い出が増えた事でしょう。



まこと



真和



真和

「第34回 おゆうぎ会」

真和

毎日、皆で楽しく練習を積み重ね、どんどん上手に表現することができます。当日は、子どもたちもイキイキと輝くことができました。

そして、皆さんに沢山の拍手をいただき笑顔も一段とキラキラしていました。太鼓の衣装は子どもたちで染めました。



年長さんが、春に畑に種をまき、野菜を育ててきました。今年は、ピーマン、じゃがいも、大根、にんじん、etc...、どんどん大きくなる野菜の成長を楽しみに、秋を迎えていよいよ収穫!! 年長さんは、コックさん



「コックになりました」

真和



になり、収穫した野菜で、自分たちだけで、カレーづくりをしました。

秋は、自然からのプレゼントがたくさんあります。草木が赤や黄色に変わり、落ち葉がヒラヒラと舞い落ちるそんな中、お天気の良い日は戸外での活動を楽しんでいます。ひょこ一歳クラスの子どもたちは、園庭の築山を上ったり、下りたりするのが大好き!! 手を振つたり、"おーい"と声を出したり、元気に遊んでいます。移り変わる季節の中で秋を満喫しながら心身ともに成長していくようです。



「秋の自然を楽しもう」

まこと

